

視察報告書 町田市議会 無所属会派 吉田つとむ記 2023.07.20

福島市こむこむ館 福島子どもの夢を育む施設について

(総説)



町田市議会無所属会派の視察で、福島市こむこむ館を視察しました。

この施設に該当する町田市の施設はありません。町田市の場合、子ども施設は子どもセンターと子どもクラブとなっており、市内の 5 ブロックのそれぞれを子どもセンターでカバーし、あるいはそれを補完する小規模施設である子どもクラブを設置しているものです。他市ではその中間クラスの児童館を設置しています。ということで、福島市の施設はそれらに包括できないレベルの総合的な施設となっています。相応の大都市にあっては、必要な施設と言えましょう。

子ども施策が進んでいる自治体は、市内全体のメインとなる場所に、子どもの学習、遊び場の拠点として、このこむこむ館のような施設を造っているものです。福島市は、県庁所在地都市ではありますが、人口では町田市の約 43 万人と比べ、約 30 万人を切った人数 27 万 5 千人ほどになっており、同県内の郡山市の方が人口 32 万 2 千人となっています。その意味では、町田市にとって、青少年世代が共有して使用できる施設が今後の課題となるでしょう。



新井よしなお議員が挨拶しました。

(説明)

さて、このこむこむ館の概要は以下の通りです。

建築総事業費 53 億 4000 万円（土地代を含まず）

建築概要（地上 4 階、地下 1 階）

○鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

○敷地面積・・・5,000 m²

○建築面積・・・3,320 m²

○延床面積・・・9,886 m²

隣接して、NHK 福島放送会館がある。つながっている部分があり、行き来できるように配置されている。



NHK に通じる通路

旧国鉄清算事業団より用地購入する。

土地の購入費・・・23 億 5 千万円（47 万円/m²）

平成 17 年・・・開館

子どもアンケート、小・中学生の聞き取り調査を実施、

基本設計の市民ワークショップ、施設運営のワークショップをたびたび開催。

NHK との連携が大きな特徴。

施設は、プラネタリウム、展示施設、多目的ホール、子どもライブラリーなどがあり、世代間交流も目的にしている。それは、文化の継承と創造を目指したものである。

また、この館は、市街化活性化をも期待されている。

運営は指定管理となっており、公益財団法人福島市振興公社が担当している。子どもライブラリーと言うのは、市立図書館分室という位置づけになっている。以下、ソフト的な事項は割愛する。

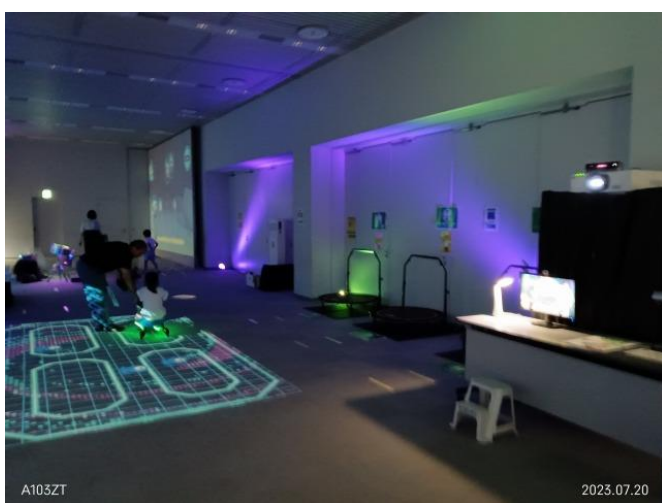
(所感)

総説に書いたように、この規模の子ども施設は町田市に無い。それは子ども施策が総じて遅くなったので、今日まで作っていないこと以外に理由は、他市においては、子ども図書館（ライブラリー）、あるいは子ども科学館などの施設を持つことがある。それらを総合したのは、このこむこむ館のようなものであろう。



子どもライブラリー（2万冊の蔵書）

この種の施設を造ると、子どものし好や時代の趨勢が合わないことやずれが生じることがあり、それに対して、ハード的、ソフト的にどのように対応させていくかが課題になってくると思う。



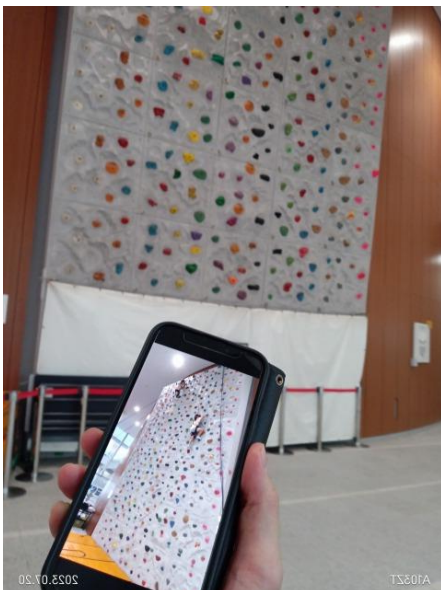
小さな子どもには、そうした空間と映像が適しているようです。



(右写真) ミイラを模し、その中に内臓が模型のパーツ的に入るものでした。



屋上には、小型の天文台があり、指定日に観測が出来ます。



チャレンジウオールは本格的で、指導者がついて登る



ホールは、館の人でも操作できるように、皆さんが必要な資格も取り合う

大きな修繕や改造の予算は指定管理の中に入らないが、それをどのようなものが相応しいかについて、一番適切な答えが出せるのが指定管理者の職員の仕事でしょう。果たして、どのように進んで行くのか、令和6年3月の契約期間満了にどのような結論が出るのでしょうか。



吹き抜けのガラスの天板の取り付け部が大きく痛み、雨漏りが激しくなっていました。後方は、プラネタリウムの天井部分。

プラネタリウムは各世代に大変人気がある施設です。ただし、世代によっても、好みや学習レベルが異なるので、それを満足させるのはとても大変なことです。どのようなものを提供できるかは、それまた、館の職員のレベルによるでしょう。それを満たしてくれるはずでしょう。

市街化活性化の目的がありましたが、それはなかなか難しかろうとおもいました。あくまで、子どもが集まる場所に徹した方が健全と思いました。



交流コーナーの使用方法について、

ここのコーナーでは、食べ物を持参して食べる事が可能と聞きました。こむこむ館には食堂がないので、長い時間そこで遊ぶには持参した食事を取る場所が必要ですが、それが交流コーナーで確保されていました。必要な措置と思いますが、簡単に実施できたことは思えませんでした。

(追記：参考動画)

福島市こむこむ館：交流コーナーは持参した食べ物を食べることもできる
2023.07.20

<https://youtu.be/is0GM5hRSTk>

(説明) 福島市こむこむ館：交流コーナーは持参した食べ物を食べることもできる 2023.07.20 図書館やプラネタリウムがあるので長居をしたくなる。吉田つとむ発見動画チャンネル